

歯科のポストコア(歯の土台)には、主に 4 つの種類があり、素材によって保険適用か自費診療(保険適用外)かが分かります。

保険診療では、使用できる素材や治療工程に厳格なルールが定められています。それぞれの特徴と保険適用の有無は以下の通りです。

ポストコアの種類と保険適用の比較

種類(素材) 保険適用の有無	特徴とメリット	デメリット・注意点
レジンコア (プラスチック樹脂) 保険適用	・歯を削る量が少なく済む ・歯に近い硬さで、歯根が破折しにくい ・金属アレルギーの心配がない	・強度がやや劣るため、噛み合わせの負担が大きい奥歯などでは使用できない場合がある
メタルコア (銀合金など) 保険適用	・強度が非常に高く、壊れにくい ・歴史が長く、多くの症例で実績がある	・非常に硬いため、強い負荷がかかった際に歯根が割れるリスクがある ・金属アレルギーのリスクや、歯茎が黒ずむ(メタルタトゥー)可能性がある
ファイバーコア (グラスファイバー) 条件付き保険適用	・適度なしなりがあり、歯根が最も割れにくい ・白いため、被せ物をしたときに美しく仕上がる ・金属アレルギーの心配がない	・自費診療のファイバーコアに比べ、保険適用では使用できる薬剤や術式に制限がある場合がある
ゴールドコア (金合金・白金加金) 保険適用外 (完全自費診療)	・錆びにくく、アレルギーが起こりにくい ・硬すぎず、歯に馴染みやすいため歯根を痛めにくい	・費用が高額になる

ファイバーコアの保険適用に関する注意点

ファイバーコアは、かつて完全自費診療(保険外)でしたが、現在は特定の施設基準を満たした歯科医院において、条件を満たせば保険適用で治療を受けられます。

- 保険適用の条件: 主に、上に被せるクラウン(被せ物)も保険診療で同時に行う場合などに適用されます。
- 歯科医院の確認が必要: すべての歯科医院が保険適用でのファイバーコアに対応して